

平成26年度 第38回全国高等学校ハンドボール選抜大会

戦 評 用 紙

試合番号

1

男子・女子 2回戦

会場 スカイホール豊田A コート

藤代紫水

チーム名

35

総得点

12 — 14
23 — 17

31

総得点

大分雄城台

チーム名

7mTC

大会屈指の好カードと言われた一戦。試合前のアップからも、両チームのこの試合への強い想いが伝わってくる。二本の模様が入った赤と紫のユニフォームがコートに映えた。両者堅い守備からの速攻を持ち味とし、両監督の熱い指示がコートには飛び交った。雄城台は5番山本の1対1やステップシュートで得点をしていく。藤代紫水はGK中村の好セーブと連携した守備でリードを許さない。試合が動き出したのは、前半20分を過ぎ藤代紫水に退場者が出ると、雄城台がサイドシュートを中心に3得点。藤代紫水はタイムアウトを要求し、落ち着きを取り戻すと、10番千葉の活躍によりそれ以上のリードを許さないものの雄城台が2点リードで前半終了。後半両者ともリスタートと速攻を意識した立ち上がり。少しの判断やシュートミスが失点を生む。観客に生きもつかせぬその競り合いを制したのは藤代紫水。雄城台のDFの隙間を鋭く突き、積み重なっていく得点は、逆転と4点のリードを生み、リードを守り切った。